

実習作品 「季節を感じる憩いの緑地」 ～地域の拠点としての役割を発信する空間づくり～

設計趣旨

学校内敷地には、近隣の保育園や幼稚園の園児たちが飼育している動物の見学や野菜の収穫体験に訪れることが多く、前庭の芝生広場で遊び回る様子も見られます。さらに本校は災害時の避難所としても熊本市と連携しており、熊本地震時にも活用するなど地域コミュニティの拠点でもあり、対象地は避難者の心を休める場となり得ると考えます。今回の計画では、昼食や休息を取ることのできる憩いの場を提供し、地域住民の方にも広く利用していただき、季節感を感じてほしいと考えました。

花壇ベンチ



床堀を行い安定性を増すための基礎工事

防災ベンチ



防災ベンチの基礎となる位置出しのための丁張り

記念オブジェ



レベルを使い、杭の高さを揃える

園路



園路の縁石を天端と側面を合わせて敷設を行う



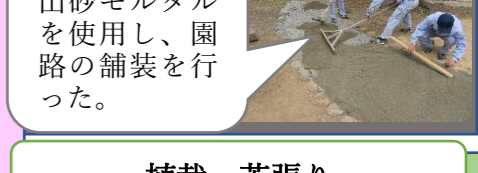
地盤沈下を防ぐための転圧作業



水系に合わせて耐火レンガとモルタルを使った施工



もみがらで磨いた竹をドリルで固定



オリジナルの山砂モルタルを使用し、園路の舗装を行った。

植栽・芝張り



植栽を行うための客土



泥はね防止とデザイン性を考え、レンガの敷設作業



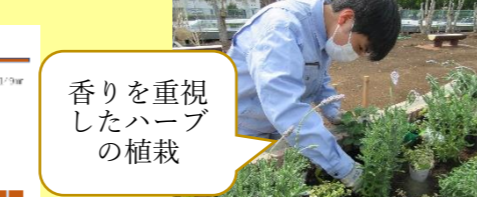
炊き出し時に、鍋を置くための金具の取り付けを行った。



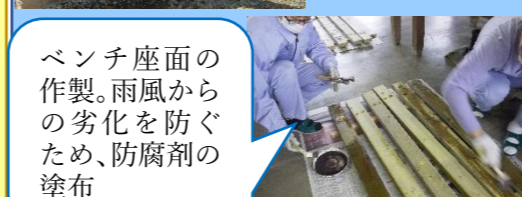
草が生えないように防草シートを張る



ハナミズキの植栽



香りを重視したハーブの植栽



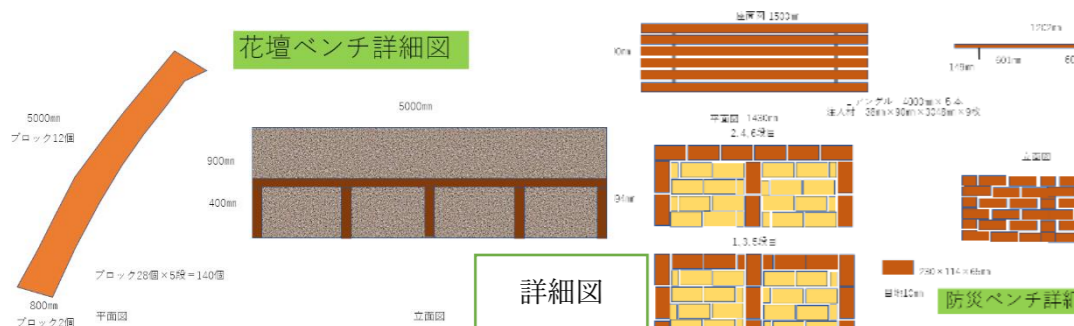
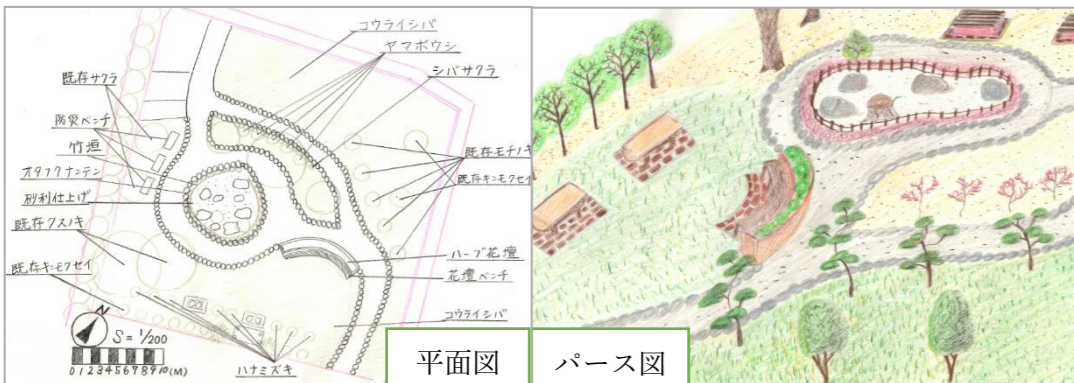
ベンチ座面の作製。雨風からの劣化を防ぐため、防腐剤の塗布



最後にクラッシュランを敷き詰め、完成！



張り芝作業



完成写真

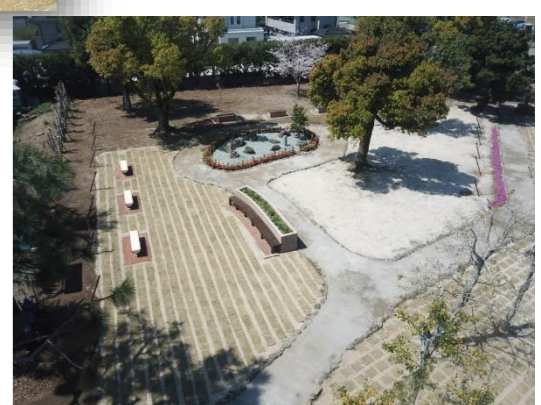


園路への土の流入を防ぐ目的と景観を考慮し、シバザクラを植栽しました。測量から設計・施工まで、今まで学習したことを実践しました。実際に行うことで学ぶ知識や技術もありました。多くの人に利用していただき、地域の拠点となってほしいと思います。

施工前



花壇ベンチはベンチの座面から子ども達がハーブに触れることができるよう、高さを考えて完成させました。園路は階段を取り外し、スロープに山砂モルタルで仕上げました。また、防災ベンチは実際使えるように三カ所間隔を開けて完成させました。



常緑の高木樹は大きくなりすぎ、鬱蒼とした場所となっていた。また、階段での段差や砂利敷きの園路面は車椅子やベビーカーなどの乗り入れが困難な場所があった。